

オニクラマゴケ

Selaginella doederleinii Hieron.

イワヒバ科

石川県カテゴリー

絶滅

国カテゴリー

該当なし

選定理由

絶滅して久しく、その後、新産地の情報がない。(現況:RE)

形態

茎は斜状に分岐、葉は背葉と腹葉の2形があり、各2列に並び葉は楕円形ないし長卵形。主茎は斜上し、太い担根体を多数出す。胞子のうは小枝に頂生する。

国内分布

本州、九州。

県内分布

過去に口能登区に分布。

生態など

常緑性の地表植物で、茎は地上を這い側足を出して分岐して広がる。繁殖は茎と胞子による。

生育環境

低山の樹林下の陰湿な場所。

危険要因

不明。



小野ふみゑ・2003年12月26日・県外

分布図はありません。

県内の分布